

すごいぞ！のりものレッツゴー

—ペットボトルで表そう—

複式1・2年 図画工作 6～7月 33Q (11時間)
 附属新潟小学校 教諭 堀田 雄大

1 目指す姿

- 「つくって乗ってみたい乗り物」と材料の特徴とを関係付け、工夫して表す子ども

特徴とは、材料の面材、線材、塊材としての使い方のことである。

工夫とは、子どもの思いに合わせて複数の材料を組み合わせた表現である。

例：クレーン車の首、掻き出す部分や本体をもっと本物らしくしたいという思いをもつ子ども

- ・クレーン車の首（共通材料）にPPテープを巻き付け（線材）、巻き段ボールで掻き出す部分をつくって首の部分に付ける（共通+線+面）。
- ・黄色のビニル袋（面材）をペットボトルでつくった本体（共通材料）に貼り付ける。クレーン車の資料を見て、色の具合を確認し、袋の形を調整する。黄色の上に、PPテープを貼り、色の違いを出す。（面+共通材料+線）。

2 育む資質・能力

	①知識や技能	②ツール活用能力	③見方や考え方	④態度
図工	○材料の特徴を生かした行為 ○材料同士、または材料と用具とを組み合わせて、思いに合うように表し方を考える	○みんなのアイデアシートを基に、表したいものの特徴を見いだす	○材料の特徴と自分の表したいイメージとを関係付ける ○材料の特徴を基に、表し方を工夫を考える	○つくりだす喜びを味わう ○自分の感覚を大切にして表現を行う
国語	○説明的文章の内容の大体を理解する		「読む」 ○資料の中の大事な言葉や文を見付けること	○感じたことを言葉にし、それを交流することで豊かな考えをもつ
生活科	○集団における自分の存在に気付く			○みんなで遊びを楽しむことができる

3 資質・能力の関連

[第1学年] 国語
じどう車くらべ



[第1・2学年] 図工
すごいぞ！
のりものレッツゴー



[第1・2学年] 生活科
日本海へこぎだそう
ペットボトルいかだづくり

4 単元の計画

	【学習活動】 ☆資質・能力	【働き掛け】	Q
生活科 一次	○ ペットボトルを用いて、海で沈まないいかだづくりに取り組む。 ○ 何度も繰り返し考えて、丈夫で沈まない丈夫ないかだの作り方が分かった。 ☆ 資質・能力 図①生①④	◆ 海で浮かぶいかだをペットボトルでつくることを提案する。 ◆ プールで浮かばせ、次にどうしていきたくないか問う。 ◆ 海で浮かぶいかだをつくる方法を問う。 ◆ 実際の海でいかだを浮かばせ、成功した理由を問う。	12 Q 4 時間
国語 二次	○ 「じどう車くらべ」を読み、書かれている内容の大体と、簡単な構成について理解する。 ・いろいろな自動車について書かれている文章だ。 ・自動車にも、仕事があるんだな。 ・ぼくの好きな自動車は、まだまだたくさんあるよ。 ○ 自動車には「しごと」と「つくり」があることが分かった。他にもいろいろな自動車がある。ぼくの好きな自動車についても、他に調べていきたいな。 ☆ 資質・能力 国①③	◆ 題名のみを提示し、教材文の内容を予想させる。 ◆ 知っている自動車とその特徴を問う。 ◆ 教材文「じどう車くらべ」を通読させ、初発の感想を問う。 ◆ じどう車の「仕事」「つくり」に関する感想を採り上げ、「じどう車にはどんな『仕事』『つくり』があるだろうか」と課題を設定する。 ◆ 再読させ、バス・トラック・クレーン車の「仕事」と「つくり」が書かれている部分にサイドラインを引かせる。 ◆ 消防車や他のじどう車について、「仕事」と「つくり」をまとめるという追求課題を設定する。	9 Q 3 時間

- 写真の乗り物の名前、「しごと」「つくり」について知っていることを話す。
 - ・ダンパーには、大きな岩や土を運ぶ仕事をしている。そのために、大きな荷台がある。
- ☆ 資質・能力 国①**
- 「つくって乗ってみたい乗り物」がどんなものか疑問をもったり、予想したりする。
 - ・クレーンがいい。丈夫なうであるよ。

◎ 「しごと」と「つくり」を考えて、乗ってみたい自動車をつくろう。

- ぼくはクレーン車がいい。かっこいい「うで」をつくりたい。
- ☆ 資質・能力 図②③**
- この図鑑のページにも書いてあるよ。つり上げる針金、キャタピラ。
- ☆ 資質・能力 国③**

- ペットボトルを長くつなげて、うでの形をつくる。
 - 束ねて立つようにしたペットボトルで車体の形をつくる。
 - 車体の形に、つなげたペットボトルを付け、足やキャタピラにする。
- ☆ 資質・能力 図①**

- 自分たちの作品に不十分な点や、よりよくしたいと考えている点を話す。
 - ・このうでだと、色も透明でゴツゴツした感じが無い。
 - ・もっと材料がほしい。

- クレーン車の首、掻き出す部分や本体をもっと本物らしくしたいという思いをもつ子ども
 - ・クレーン車の首（共通材料）にPPテープを巻き付け（線材）、巻き段ボールで掻き出す部分をつくって首の部分に付ける（共通+線+面）。
 - ・黄色のビニル袋（面材）をペットボトルでつくった本体（共通材料）に貼り付ける。クレーン車の資料を見て、色の具合を確認し、袋の形を調整する。黄色の上に、PPテープを貼り、色の違いを出す。（面+共通材料+線）。
- ☆ 資質・能力 図③**

- 考えていた以上に、すごいクレーン車ができました。うれしかったです。「しごと」や「つくり」をみんなで考えたり、自分でできることを見付けて工夫をすることができました。みんなでつくって楽しかったです。
- ☆ 資質・能力 生①④ 図②③④**

- 出来上がった自動車を板に乗せ、遊ぶ。
- 遊んだ感想を基に、うまくいったところ、できなかったところ等、学習の成果をまとめる。

- ◆ 様々な自動車の資料を提示し、「つくって乗ってみたい自動車」の具体を問う。
- 【働き掛け1】**

- ※ あらかじめペットボトルでつくることは伝えておく。
- ※ 一畳程度の大きさの板にキャスターのついたものを示し、この上に作品を乗せ、実際に乗って遊ぶことを伝える。
- ※ 全体で予想させ、「しごと」と「つくり」に整理して板書する。

- ◆ 「みんなのアイデアシート」に書き込む内容を予想させた後、グループで表したいものの具体を話し合わせる。
- 【働き掛け2】**

- ※ 「みんなのアイデアシート」を黒板に貼り、モデルとして子どもの予想を書き込む。
- ※ 4人のグループをつくる。
- ※ ライターを決め、ペンを渡す。
- ※ ワークシートの書き方が分からない子どもに、やり方を教える。

- ◆ ペットボトルでいかだをつくっていたときの写真を見せ、必要な表し方を問う。
- 【働き掛け3】**

- ※ 写真を一枚ずつ見せる。つぶやきを認め、どんな使い方をしていたのか問い返す。
- ※ 加工に必要な用具（はさみ、のり、ガムテープ等）を用意しておく。
- ※ 活動後、振り返りシートを配付し、記入させる。
- ※ 活動後、記念撮影を行う。

- ◆ ペットボトルでできた乗り物の写真と「みんなのアイデアシート」とを提示し、「次にどうしたいか」「必要な材料は何か」と問う。
- 【働き掛け4】**

- ※ 前時までの作品の写真を上、「みんなのアイデアシート」を下に貼る。
- ※ 数人に発表させる。
- ※ グループに写真を配付し、具体をペンで書き込ませる。
- ※ 全体で数人発表させる。選択する理由も説明させる。
- ※ グループで2つ必要な材料を決めさせる。

- ◆ 表現の過程を振り返らせ、よくできた点やどうやって工夫できたのかを問う。
- 【自覚のための働き掛け】**

- ◆ 多目的ホールで、出来上がった作品で自由に遊ばせる。
- ◆ 他のグループの作品にも乗ってよいことを伝え、感想を問う。
- ◆ 学習を終えて学んだことことを問う。